

第十二回「あの日のこと覚えてる」／パールック

「ねえ、セナ」

「どうした？」

「あの日のこと覚えてる？」

「唯の店で初めて会った時のこと？」

「ふと、思い出してね」

「あーなつかしいねえ、今じゃあ、考えられないよね」

「まさか、僕らが付き合う事になるなんてさ」

女性トップアイドルの座を獲得した僕と、男性トップアイドルの座を獲得してる晶。

晶のフアンの娘達には申し訳ないけど、晶の隣は絶対譲れない。

まあ、晶のフアンの娘達も僕のフアンの人達も薄々気付いてるんだろ
うね、僕ら偶に同じデザインのスネクレスしてたりしてパールックして
たりするし。晶のスタイリストさん、困ってたなあ……『今日の衣装に
このスネクレス合わないですけど』『じゃあ、衣装の方変えて』『：
：上に確認します』って感じで晶が頑なにスネクレス外さなかつたりす
るし、僕は僕で頑なにリング外さないから紅葉に怒られたなあ……

「ゆっくりすすんでる僕らだけど、そろそろ正式発表してもいいかも
ね」

「じゃあこうしようか。来年、僕達が出会った日に記者会見をしよう」

「良いね、そうしよう」

「楽しみだね」

「セナのお父さんたちにもう一度正式に挨拶させてね」

「はいはい。またお父さん倒れちゃうから程々にね」